

越前兜山から大日山 (1319m) (1368m)

実施日：2022年07月11日（月）

天候： 晴れ

参加者： 13名 （金沢）北村、豊島、笠置、岡本、佐野
（京都）井田、川添、川鍋、園田、田中、細田、牧野、園田

行程： 新保峠 10:07→10:41 大日峠→10:51 小休止 10:56→11:11 小休止 11:13→11:34 小休止
11:37→12:03 越前兜山（甲山）12:54→13:23 小休止 13:25→14:25 鉄塔 14:33→
14:41 新保峠

山城温泉をスタートし、予定より30分遅れて新保峠へ。今日の参加者、笠置、岡本、佐野さんたちが待ちくたびれておられた。申し訳ありませんでした。山代温泉からここまでたいへん遠い。しかも国道とは思えない細い道であった。

ともあれ、10時過ぎに登山開始するが、いきなりの送電鉄塔管理の急階段である。鉄塔まで上り、大日峠まで下る。ここから越前兜山への急登が続く。並の急登ではなく、ほぼずっと補助のロープが続く急斜面の直登である。こんなハードな上りは関西にはない。小休止を繰り返し、悪戦苦闘の後、越前兜山山頂に12時過ぎに到着。1人は途中で撤退。ともあれここでお弁当。しかし、いつも健脚の3名でさえ疲労のため食欲無し。山頂にはアキアカネが飛び回っていて、すでに秋の気配である。

昨日とは違い、今日はここまでいい天気だが、なんだか雲行きが怪しい。計画通り大日山を回って下ると、かなり遅くなりそう。上って来た急斜面を下るのも骨であるが、今回はここからピストンで帰ることにする。1時前に下山開始。慎重に下ってゆく。途中で女性の声が「消えた！」と。何かと聞くと、前を歩いてた人が落ちたとのこと。かろうじてロープを掴んでいたため転落は免れたが自力では上がれず。引っ張りあげる。バランスを崩し、ストックをついたものの、そこには地面が無かった。笹や小さな木々や草が茂り、崖の端の道であることが分からない。ところどころ崖っぶちやヤセ尾根になっている様子。幸いなことに、事なきを得、より慎重に下る。

大日峠まで下り、鉄塔まで上り返し、急階段を下り、無事新保峠に戻る。登山靴を脱ぎ、車で下りはじめると、雨が降り始めた。途中で自宅に帰られる二人と別れ、10人は氷見の「城山」を目指す。18時半ごろ到着。ピストンにして正解であった。汗を流し19時半からご馳走で宴会。その後は部屋で歓談。明日の山は観光に変更することにした。歳か。



1. 山代温泉スタート前



2. 国道 416 号、新保峠より上る



3. 送電鉄塔管理の急階段を上る



4. 鉄塔までもう少し



5. 鉄塔に到着、ここから大日峠に下る



6. 大日峠から越前甲山への上り開始



7. 急斜面のため、補助ロープが



8. ロープ道の直登



9. ハードな上りが続く



10. アキアカネの飛び回る越前甲山山頂でお弁当



11. 越前甲山で全員



12. 雲行きが怪しくなり、大日山は諦め、ピストンで下山



13. 苦勞して上ってきた道を下る



14. 木や笹が茂っており分らないが、崖っぶちの道



15. 大日峠まで戻る



16. 鉄塔から登山口に下る



17. 氷見「城山」での夕食開始